

## 夏季休暇期間中の豚熱、口蹄疫、アフリカ豚熱等の防疫対策を徹底しましょう！

本年7月、栃木県で国内83例目の豚熱(CSF)が発生しました。また、近隣諸国では口蹄疫(FMD)の発生が複数件報告されたほか、アフリカ豚熱(ASF)についてはヨーロッパ・アジア地域で発生が拡大しており観光地においても発生が確認されています。6月から入国制限の緩和がなされ、それに伴い外国人入国者数の増加が見込まれています。このことから人・モノの移動が増加することが予想され、国内へのウイルスの侵入リスクがますます高くなります。畜産関係者は本病発生地域への渡航は可能な限り自粛してください。

- ☑ 口蹄疫やアフリカ豚熱等の発生地域への渡航の自粛。
- ☑ 看板の設置等により、必要のない者が衛生管理区域や畜舎内に立ち入ること又は不要な物を持ち込むことがないようにする。
- ☑ 衛生管理区域もしくは畜舎に立ち入る場合には、手指や物の消毒、専用の靴の着用等をする。
- ☑ 病原体侵入の大きな原因となる野生動物の侵入防止対策を徹底する。
- ☑ 毎日必ず健康観察し、特定症状が見られた時は、ただちに獣医師や家保へ通報する。

飼養している家畜に異状が見られた場合には、直ちに獣医師、または家畜保健衛生所にご連絡ください。

★むつ家畜保健衛生所

〒035-0072

むつ市金谷二丁目18-25

夜間及び休日の連絡先：090-5841-6810

電話：0175-22-1254

FAX：0175-22-1259

## アフリカ豚熱

アフリカ豚熱は病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。

甚急性では突然死亡、急性では発熱（40~42℃）、皮下出血、粘血便、耳翼の紅斑（チアノーゼ）等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門



チアノーゼ



肛門からの出血

## 豚熱

豚熱は特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です。異常（発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸器障害等）を発見したら直ちに通報しましょう。

重症例は神経症状（後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙攣）下出血による紫斑（耳翼・尾・腹部・内股部）を呈し死亡。

写真出典：岐阜県



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

# 口蹄疫

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。

写真出典：宮崎県



蹄球部皮膚の  
びらん、潰瘍



鼻端の水疱

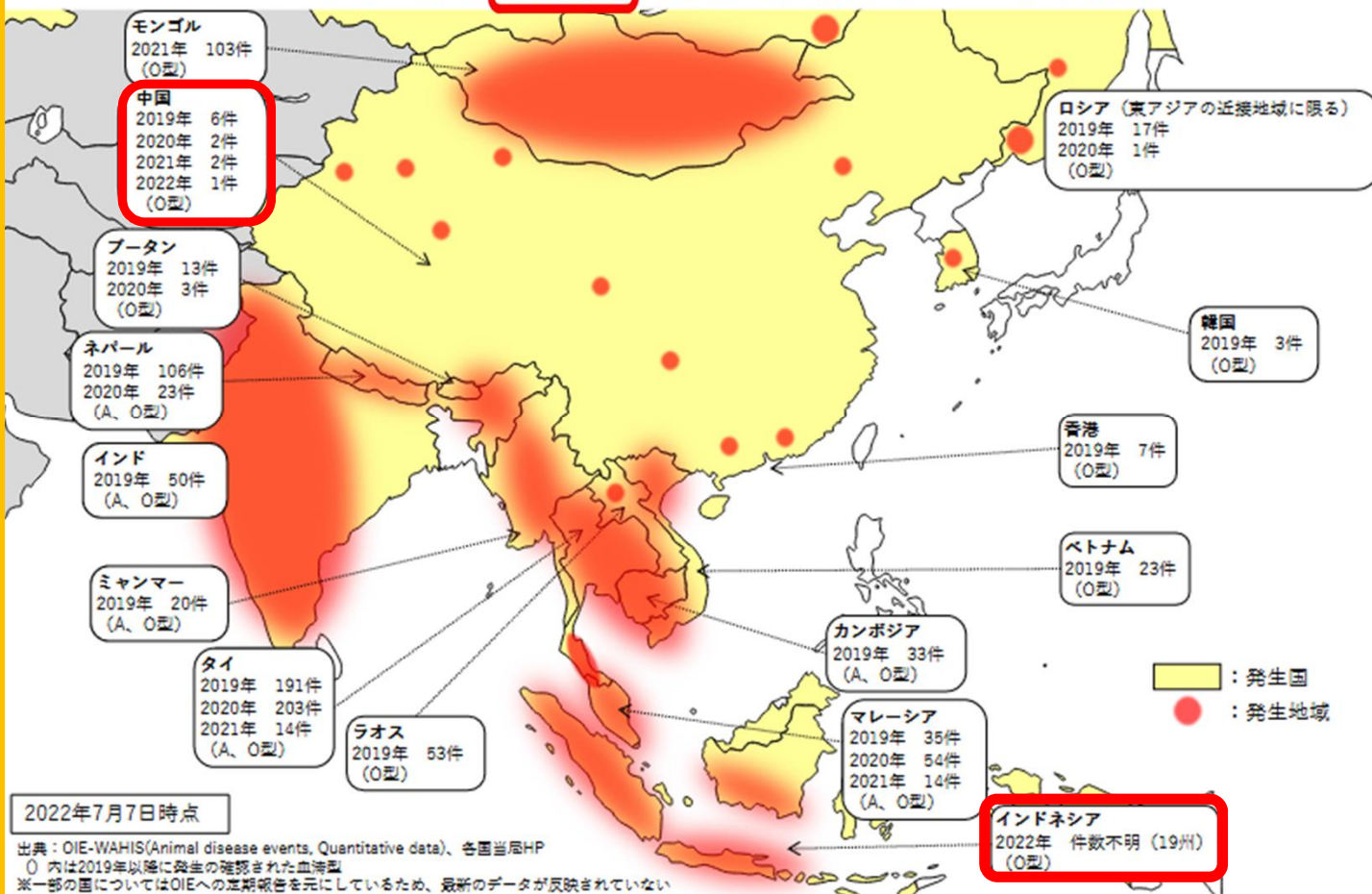


鼻平面の潰瘍



乳房、乳頭の水疱  
びらん、痂皮

## アジアにおける口蹄疫の発生状況（2019年以降）



出典：農林水産省HP